

2023年3月号

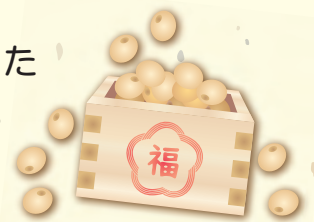


ひだまり、そよかぜデイサービスでは、節分の行事を行いました。ひだまりのご利用者は、片手いっぱい豆を握りしめ外へ目掛けて、力いっぱい職員の掛け声とともに「鬼は外、福は内」と豆まきをしました。

豆が落ちていたテラスを見て、「大きな豆だったね」「なんだかもったいないね」「鳥がたべてくれるといいなあ〜」と話をされていました。

そよかぜでは、豆の代わりにボールを使いました。

今年一年、皆さまが健康で元気に過ごせることをお願いしました。



## 南知多町デイサービス「鬼退治」

段ボールやペットボトルで作った鬼に玉を投げて、鬼倒しゲームを行いました。ご利用者は、鬼を倒そうと一生懸命に玉を投げていらっしゃいました。「投げる」動作は、日常生活ではなかなか行わない動作です。鬼を目がけて玉を投げることで、肩や腕、手先の運動につながります。

「楽しかったわ」「いい運動ができたわ」と、鬼が退治でき、達成感も味わえた様子でした。



## みなみ苑「鬼まんじゅう」

おやつ時間に鬼まんじゅうを作りました。つやつやの鬼まんじゅうが出来上がり、ご利用者に食べていただきました。「甘くて美味しいね」「柔らかくて食べやすいよ」「おかわりできる?」と好評でした。



## そよかぜデイサービス「豆蒸しパン」

節分のおやつに豆蒸しパンを作りました。ホットケーキミックスと牛乳を混ぜ、鬼の顔になるよう甘納豆を乗せ、レンジで温めました。最後に生クリームで顔を作り、角にみたてたポッキーを乗せて完成です。「可愛くて食べるのがもったいない」と喜ばれていました。



## ひだまり「大きなお芋」

ご利用者のご家族よりすごく立派な大きなお芋をいただきました。頂いたお芋は、「紅はるか」と「紅あずま」です。ご利用者が持ってみると、「重いね」「どうやって食べようか?」「どうしたらこんなに大きなお芋ができるんだろう」「甘いかなあ〜」等、笑顔で感動をしていました。

厨房職員にこの芋を使って、美味しいスイーツを作ってくださいようをお願いしました。何ができるか、楽しみにしています。



## そよかぜデイサービス「バレンタイン」

今年のバレンタインは、マシュマロでチョコレートムースを作りました。

マシュマロとチョコレートを温めた牛乳で溶かし、冷やしたら完成です。「甘くておいしい」と好評でした。



## みなみ苑「チラシ工作」

職員が新聞広告チラシを小さく切り、ご利用者が三角になるように切ったチラシを折ります。まずは職員が土台を組み立て、そこからはご利用者が組み立てました。

ご利用者の三角に折る方が早く、チラシを切る職員が慌ててしまうことがありました。立派なフクロウ・ヒョウタンが出来上がりました。



## 南知多町デイサービス「壁面」



壁面を作り変えました。2023年号の気球に乗ったうさぎと、風船が飛んでいます。

うさぎが見下ろしている山には、手作り作品で作ったうさぎが飛び跳ねています。ご利用者は、白いおはながみを丸めながら、「今度は、何ができるのかな」と楽しみにされていました。出来上がった壁面を見て、「かわいらしいうさぎだね」とうれしそうにお話されていました。

## ひだまり「感染予防対策研修会」

ひだまりで新型コロナウイルスの陽性者が多数出てしまった事を踏まえ、これからも起こりうるであろう感染症（インフルエンザ、ノロウイルス、食中毒等）について研修会を行いました。今までの対応を振り返り反省点を洗い出し、感染症が出る前の対応、出てしまった時の初期対応、感染を広げないための対応と、段階別に検討していきました。

(写真は防護服の着脱の練習の様子です。)

